

---

# 2011年に想う

—歴史的時空体験に遭遇して—

2011年12月 木下知己  
筑波学院大学教授

---

4月10日

<東日本大震災復興プラン（提案）>

「オープンカントリー特区による復興と発展をめざす」

7月10日

<東日本大震災復興プラン（提案）>

「オープンカントリー特区による復興と発展をめざす」（2）

9月20日

ライフワーク一番

—働きいざなう—

10月15日

問題解決力を鍛える

—達人からの教訓を道標に—



## <東日本大震災復興プラン(提案)>

### 「オープンカントリー特区による復興と発展をめざす」

2011年4月10日 つくばイノベーション研究代表 筑波学院大学教授 木下知己

「東日本大震災」の被災者の皆様に謹んでお見舞申し上げます。1日も早い復旧・復興と安全で健康的な生活が送られますよう心からお祈り申し上げます。

#### <提案概要>

##### I. 目的展望

復旧・復興を第一に、地震・津波・原発事故の三重の災害体験と、国内外の人々・企業・組織・都市・国家等から災害支援が寄せられていることの両方を、人類の貴重な遺産として次世代へ繋げ、後世へ残す。

##### II. 方法方策

東日本地域をオープンカントリーの特区と設定する。オープンカントリー特区では、国内外の国、都市、企業等諸団体が自由に東日本の特定地域・都市とパートナー契約を結び共同して復興と発展を図る。

##### III. 実現課題

- ・ 市民の生活と生産活動の復旧・復興
- ・ 後世の人々に伝えていかなければならない災害体験から得られた知見の提供
- ・ パートナーとの恒久的交流

##### IV. 予算化方策

基本インフラは国が一律整備。当該地域・都市はパートナーと共同で、課題解決のための企画を立案し、国にプロポーザルを提出し予算化を仰ぐ。JICAの国内版的。

##### V. 実現後の青写真

パートナーとの共同で地域の中に生活と生産の場が生まれ、広い空間を利用した災害記念館と交流の万博パビリオンの広場やテーマパーク等ができ、年間スケジュールを組んだお祭りや催しが共同で開かれる。特区地域の何処かで、いつでも何かしらの催しが開催されているように調整は図られる 地域全体は空間的拡がりを持つ多民族社会。

##### VI. 目標理念

復旧・復興の実現。災害復興と支援交流を歴史的遺産として後世に残す。オープンカントリー特区は平和と地球環境に配慮し、持続可能社会を目指したものでなくてはならない。P-LOHAS (Peace-Lifestyles of Health and Sustainability)。ニューヨークの国連本部に対して、東日本オープンカントリー地域は市民生活目線での平和交流、経済活動等を追求し、地球上に起こる諸問題で地域間解決の図れることに対処可能とし、市民・土地レベルから捉えた地球の縮図となることを期待する。

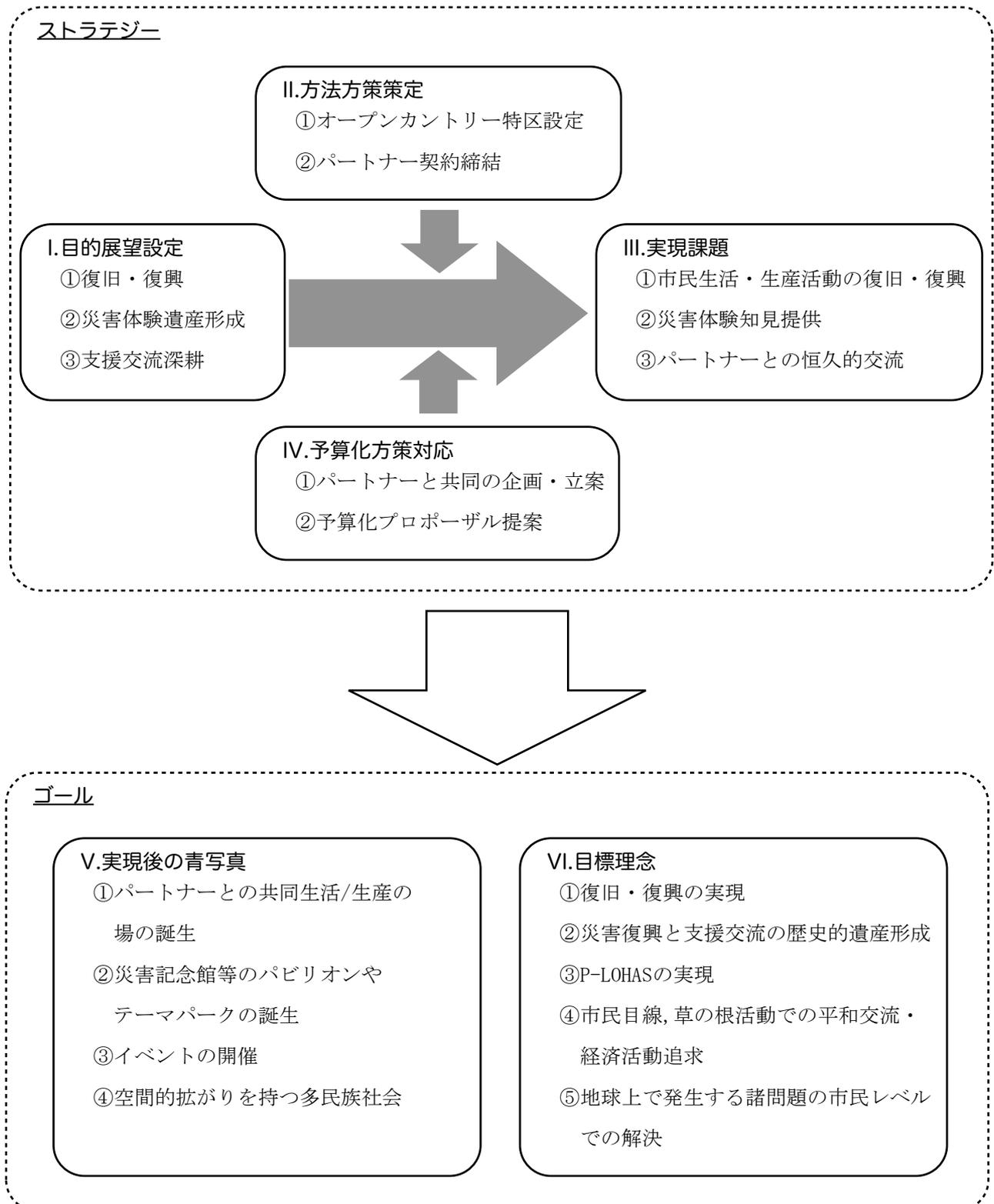
# <東日本大震災復興プラン（提案）>

## 「オープンカントリー特区による復興と発展をめざす」（2）

2011年7月10日 つくばイノベーション研究代表 筑波学院大学教授 木下知己

4月10日提案の復興と発展プランの戦略とめざすゴールを図解フローにて示す。

### <復興と発展プランフロー>



ホップ；自分の好きなやりたい仕事探し怠る無かれ、  
ステップ；問題解決型対応の重要性は認識すべし、  
ジャンプ；生涯現役貫き通し一流めざし達人へとその道極めよ

## I. 就職に向けて

1. 働く意識は家庭内教育からスタート。
2. 職業選択は好きな仕事の見聞から始め内容と将来性を見極めよ。
3. 就業体験は数多く踏め。
4. インターンシップのチャンスは逃すな。
5. とにかく自分のやりたい仕事を子供の頃から見つけることに努めよ。

## II. 就職活動の実際

1. 就活開始は早ければ早い程良い。
2. 空振り続くエントリーシート提出にくじけるな。
3. 最初は手応え無いのが当たり前。
4. 実際の採用試験は呼び出し受けてから内定までが本番。
5. 面接特にグループ面談の当初沈黙は仕方ない。
6. 面接も場数踏んで揉まれて満足に発言できるようになる。
7. 内定重ねめざす職業へ到達。
8. 入社確実者狙いの企業は採用試験遅し。
9. 企業が新採で求める人材の条件は主体性, コミュニケーション能力, 粘り強い忍耐力, 次に語学力, 業界知識へと続く。

## III. 職業観の近未来トレンド

1. 十年一昔の激変時代ワークライフバランス(仕事と生活の両立調和)維持し, 3足のワラジを履き3回半の転職・転社は想定すべし。
2. 人生80年!誰にでも七転び八起きと一発逆転が現実味を帯びる時世となってきた。
3. 夢をしつこく諦めない者はサヨナラホームランに恵まれること大いに有り。
4. 定年退職でのハッピーリタイア(幸せな引退)を望むより, ライフワーク(一生かけた仕事)を持ち生涯現役を目標とすべし。
5. エキスパート(一流)志向は全ての職業に当てはまりオンリーワン(達人)の価値が高まる。
6. 自分のやりたい好きな仕事なら24時間365日いつも念頭に問題意識持ち課題提起し生きがい見つけ生涯現役が前向きに送れよう。
7. 現役を一度引退した年配者のカムバックはかなり難しい。

#### IV. これからの職場で歓迎されない人物像

1. 年功故の管理職
  2. 上から目線体質の口先だけのリーダー
  3. 自分では漕ごうとしない船頭
  4. 現場指導出来ない威張るだけのマネージャー
  5. 部下に失敗の責任を擦り付ける上司
  6. 受け売り専門のエセ(贋)・プロ
  7. 仕事の段取り付けられない人間
  8. 自分で考えて仕事に取り組まない人
  9. 助っ人の力借りずには何も出来ない者
  10. いつまで経っても指示待ち人間
- などは軽蔑され淘汰されることになる。

#### V. 日本人のしごとと特性

1. 高い知識と技術ノウハウを備え職人気質を持って挑む。
2. モノづくり現場ではヒューリスティック  
(計画的よりも経験や先入観に基づき物事を単純化することで意思決定の労力を省く直感力)に試行錯誤繰り返し発明発見積み重ねスグレモノを製品化する。
3. 積み上げ方式によるモノづくりは低付加価値化傾向にあり、新たな手法を創造しなければならない時期にきている。
4. コンピュータ全盛の時代になっても確率論的アプローチは馴染めない。
5. 新しいテーマ課題や想定外事故等多種多様な危機に直面しての問題解決型対応は不得手で先送り多く、ことなかれ主義散見。
6. 新規企画等では何するか考える(コト)から事始めのため、初めからモノづくり着手のやり方はつくるモノが見えず立ち往生。
7. 擬物化へのめり込む習性が高い。
8. 初心に大局観持ってコトの重要性を認識し物事(モノとコト)道理を見極めることは苦手。
9. 個々人固有に天職持ち仕事道完成が究極の美学。



# 問題解決力を鍛える ―達人からの教訓を道標に―

2011年10月15日 筑波学院大学教授 木下知己

ホップ；スーパーマンの勇氣。

ステップ；水戸黄門の裁定力。

ジャンプ；スティーブ・ジョブズのイノベーション魂。

## I. 状況認識にあたって -四つの目と耳を手始めに五感(視・聴・嗅・味・触覚)磨く

### 1. 魚眼

広角レンズで前後左右を見渡し、何が起っているかを的確に捉え、周りと比較しながら物事の実態を解明していくワイドな視点。

### 2. 鳥瞰

上空から見ることで、全体の中での位置付けをしっかりと捉え直し何処が、どう繋がり、どんな影響を及ぼしているかを大きく見据えるマクロな視点。

### 3. 虫眼

事実を丹念に追い事実の積み重ねの上、細かい所まで明らかにし細部を究明していくミクロな視点。

### 4. 猫の目

物事の動き・変化・移り変わりの激しさを瞬時に捉え、その時起こっている事実事態の状況を的確に把握し、ジャスト・タイミングでアクションとることのできる瞬間芸のための視点。

### 5. 聴き上手

他人の話を聴くのは相手脳の考察吟味を無償で貰えることに値し、自分脳の考えにプラスとなる。聴かずは一生損してしまうのに、聴くは一時の恥を忍べば価千金となり、他人の多様な考えがプラス・アルファとして生かせ、相手考えと自分考えとの相乗効果も発揮できる能力。

### 6. 皮膚感覚

周辺の空気・音・匂い・味・肌への刺激等の変容変異を素早く察知観察して脳裏に叩き込み、現在起っている状況変化を全体的に把握できる能力。

## II. 問題解決へ向けて第一歩踏み出す初動

### 1. 現状認識の整理

問題に関わりのある事象, 現象, 環境, 場所, 物体, 動植物, 情報等について存在, 関連性, 利害関係, 影響範囲等を初期段階において把握できるところの分析を行い整理しておく。

### 2. テスト・トライ

事前に解決に向けてのシナリオを作成しシミュレーションと一度は試しの小規模実施を行い、実行結果から新たな追加修正やシナリオ見直しを図る。なおこの事前試行が決して将来の結果導出の制約とならないことは認識合意しておかなければならない。

### 3. スタート・ダッシュ

最初のトライアルとその時得られる結果は、この問題解決の成果がどこまで期待持てるかの命運を握っており、特別に重要な第一歩である。この最初の結果が解決プロジェクト・チームのその後の活躍・意気込み・ムード及び周辺第三者の見方・接し方にまで影響し、成果の良否を左右することにもなりかねない。

### III. アクション・プランの策動

#### 1. フロントニア・スピリット

前向き果敢に如何なる難題にも恐れず問題解決求め、挑戦していく粘り強い忍耐力と不撓不屈の精神力を鍛える。

#### 2. ポジティブ・シンキング

好結果を得ること前提に積極前向き思考で問題に立ち向かい、解決策の導出が図れるよう育成する。

#### 3. ハングリー精神

食欲に解決策を見つけ求めていくためのマインドを持ち、多様な解決可能性を引っ張り出し、選択肢を増やし取捨選択の幅を拡げ、的確な解決策を見出すことのできるためのエネルギーが躍動できるよう鍛える。

### IV. 隠し味の秘密兵器出番

#### 1. 段取りの妙

問題解決に向けての鍵はスケジューリングがポイントで、これができるのは解決の見通しが立つことで、さらに出来上がれば半ば達成したも同然である。

#### 2. 逆算思考

結果に遡って逆方向からのアプローチを試みる。問題解決道程における逆からのアプローチは、視界が異なる想定外等気色を前もって観察し把握しておくになり、事前の解決策対応確認と最終詰めへの準備ができるため有効である。

#### 3. 成功体験

過去において問題解決成就を経験しているかどうかは、最終ゴールに向かう時に力強い支えとなり、双六のあがり癖を持つに通じ、最後のひと踏ん張りですさらに効果が発揮されることになる

### V. 勝って兜の緒を締めよ

#### 1. 問題も進化する

解決段階での事後評価・反省と再度挑戦するならどうする等は解決直後から検討しておき、時々刻々変化する周辺環境の動向をウォッチしながら次なる機会の出番を伺っておく。

#### 2. 最初の成就で有頂天になるな

真の実力結果と解釈するよりも、ライバルいなかった・何か一つ賭けたことがまぐれ当たり・将来期待等の結果が評価されるケースがあり、安易なチャンピオン気取りは禁物。通常二回目の成功を持って実力評価されるので、次は万全を揮って挑むことが重要である。

#### 3. マンネリ化には細心の注意払う

成功が続くと美酒に浸るのが当たり前となってしまう、周辺の進歩発展の動きに鈍感に成りやすい。常に危機意識を持ち決して美酒に溺れることなく切磋琢磨していくことが周りの信頼・評価・期待を受け実績残し永続できる。

#### 4. 問題解決に万能薬無し

問題解決は一朝一夕に修得できるものではない。数多くの失敗・成功の経験と社会環境変化への普段の観察力が大きく物言い左右する。安易な解決策を構じて成功させた経験を持つとこの味が忘れられずいつの間にかこれが麻薬化することにもなる。毎日の地道な社会体験と日々の研鑽を基礎に自立自尊の維持、創造性とバランス感覚の育成が望まれる。